



認定NPO法人

アジアの新しい風

## 日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト



日時：2016年5月21日

会場：清華大学 文南楼 116教室

主催：認定NPO法人アジアの新しい風

清華大学東アジア言語と文化研究学科

## 寄付をいただいた皆様

清華大学における今回のコンテストに対し、以下の方々から寄付を頂きました。  
感謝を込めてお名前を掲載いたします。(50音順・敬称略)

五十嵐 久仁香、伊藤 春雄、上 高子、江原 一夫、奥村 由巳、奥山 寿子、  
奥山 正昭、加納 啓良、川口 泰夫、黒瀬 義郎、重信 克昌、杉本 典子、  
高橋 雪子、高橋 佳夫、谷口 浩章、中村 一郎、成澤 義親、原谷 洋美、  
坂東 敏弘、古畑 仁一、古海 正子、森 郁子、安川 一  
(以上23名、寄付合計 15万4千円)



## 清華大学訪問団

今回のコンテストの応援と、清華大学で日本語を学ぶ学生およびその指導にあたって  
いらっしゃる清華大学東アジア言語と文化研究学科の先生方との交流を目的に、アジ  
アの新しい風が訪問団の参加を募ったところ、会員を中心に12名から参加の申し出が  
ありました。

訪問団の皆様のお名前を掲載します。(50音順・敬称略)

伊藤 春雄、浦上 早苗、奥山 寿子、川口 祐子、島村 美智、鈴木 一美、  
中村 一郎、林 俊雄、含本 一雄、藤原 環、藤原 ひさ子、本村 龍彦  
(以上12名)

## 2016年5月清華大学訪問にあたって

初めに、清華大学に外国語学部(当時は外国語学院)が創設されて今年が90周年にあたるということ、心よりお祝いを申し上げます。

認定NPO法人アジアの新しい風(以下アジ風)と、清華大学外国語学部日本語学科は2004年度から交流が始まり、早いもので今年12年目を迎えます。

その間、アジ風は日本語教師の派遣、学生と日本人会員とのパソコンを通じたメール交換、そして日本に留学してきたIメイト学生とアジ風会員との交流会開催など、国境を越えた交流を積み重ねて来ました。その他にも読后感想文コンテストなどを行い、毎年5月には日本から表彰式を兼ねて清華大学訪問を続けています。

さて、今年も言葉とそこに込められた日本人の心をさらに深く理解するための一つの方法として、日本の詩歌の暗唱と感想の発表を実施することにしました。

4月に2年生のIメイト学生を対象とする予選が行われ、予選で選ばれた10名が最終審査に臨みます。優秀な清華大学の学生さんたちが、日本の詩歌をどのように理解し表現してくれるのか、皆さんの発表を楽しみにしています。

最後になりましたが、今回のコンテストの実施と訪問団の受け入れにあたって、王成先生、馮峰先生を始め清華大学東アジア言語と文化研究学科の多くの先生方にご協力をいただきました。

この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

なおコンテストの実施にあたり、今回も会員の皆様から多くのご寄付をいただきました事をご報告させていただきます。

訪問団事務局

### 本日のスケジュール

14時	開幕の挨拶	アジ風訪問団団長	奥山 寿子
	審査員・質問役のご紹介		
14時10分	コンテスト(前半)	5名	
14時50分	コンテスト(後半)	5名	
15時30分	学生・アジ風訪問団によるパフォーマンス		
16時00分	成績発表と講評	審査委員長	奥山 寿子
16時15分	閉幕のご挨拶	清華大学	王成先生
18時	表彰式(交流会の中で)		
	1位～3位に表彰状と賞金授与		
	その他コンテスト参加者に賞品授与		
	1位～3位の入賞者あいさつ		



tigau

## 日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト

本選出場者氏名	課題詩
1. 呂黙（ろもく）	「こころ」
2. 梁秋嬋（りょうしゅうせん）	「こころ」
3. 劉詩璇（りゅうしせん）	「母に捧げる詩」
4. 唐銘遠（とうめいえん）	「こころ」
5. 徐榕蔚（じょようい）	「女王様」
6. 辛受娟（シンスーヨン）	「こころ」
7. 路士賢（ろしけん）	「こころ」
8. 楊雅捷（ようがしょう）	「母に捧げる詩」
9. 蔣瑄（しょうせん）	「こころ」
10. 鄭湘（ていしょう）	「無題」

### 採点表

順番	名前	暗誦 (5点)	感想と 質疑応答 (5点)	合計 (10点)	備考
1	呂黙（ろもく）				
2	梁秋嬋（りょうしゅうせん）				
3	劉詩璇（りゅうしせん）				
4	唐銘遠（とうめいえん）				
5	徐榕蔚（じょようい）				
6	辛受娟（シンスーヨン）				
7	路士賢（ろしけん）				
8	楊雅捷（ようがしょう）				
9	蔣瑄（しょうせん）				
10	鄭湘（ていしょう）				



## 課題詩

### げんげ田の道を

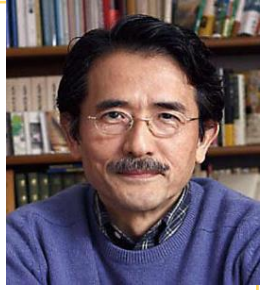
げんげの咲き敷いた田の道を  
うすくれないの野の道を  
あさぎ色によく晴れた空の下を  
のんのんと旅していく

こうしてげんげが咲くころには  
里山の木々は煙るように萌えて  
ああ、それはどんな花よりも  
あえかな、愛しい色に萌えて

### 林 望

この産毛のような芽生えの野山を  
旅していくのは佳いことだ  
あの小さな鳥たちが鳴き交わす小道を  
旅していくのは佳いことだ

名も知らぬ里の、名も知らぬげんげの道を  
空を見上げて、旅していくのは佳いことだ



### 母に捧げる詩

わたしが唄う  
子守唄のふしは  
母がわたしに唄ってくれた  
子守唄のふしです  
-----わたしばかりではありません  
誰方でも同じだと思えます

わたしがうで卵を  
細い細い糸で丸く輪の形に切るのは  
母が教えてくれたものです  
-----どなたにもこういうものが  
形となって残っています

### サトウハチロー

わたしがうれしい時に  
ひとりごとをいうのは  
母のくせがうつったのです  
-----これも  
大なり小なり うつつています

わたしは  
母からゆずられたものを  
みんなみんな  
-----そうして  
遠い遠い 遠い日のように  
母の名をよんで さみしく甘えます



### 女王様

あたしが女王さまならば  
国中のお菓子屋呼びあつめ、  
お菓子の塔をつくらせて、  
そのてっぺんに椅子据えて、  
壁をむしって食べながら、  
いろんなお布今を書きましょう。

いちばん先に書くことは、  
「私の国に住むものは、  
子供ひとりにお留守居を  
させとくことはなりません。」

### 金子みすず

それから、つぎに書くことは、  
「私の国に棲むものは  
私の毬より大きな毬を  
誰も持つことできません。」  
そしたら私も大きな毬が  
欲しくなくなることでしょう。



## 無題

自分はこれまで  
考えてみると  
自分のすかないものを避け  
自分のすかないものには洗面を見せ  
自分のすきなことばかりしようとして来た  
読む本  
交わる友達  
たべもの  
風景  
天気  
其の他のすべてに  
それでよかったか  
これでよいか  
これでどうして人間が大きくなれよう  
此の弱虫め  
強くなれ

## 山村暮鳥

おお恥ずかしい自分  
それでも人間のつもりか  
汝はこれから  
人間の苦しい道をたどり  
人間のすててしまった仕事を撰み、  
汝のすかないどんなことでも  
それが汝を殺しに来るものでも  
キリストがあゝの反逆者ユダに対してしたように  
熱い接吻をもって  
どんなものでもすくようになれ  
それが汝を生かすことなら



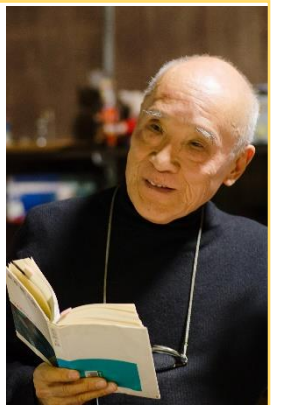
## こころ

あなたの心は沸騰しない  
あなたの心は凍らない  
あなたの心は人里離れた静かな池  
どんな風にも波立たないから  
ときどき怖くなる

あなたの池に飛び込みたいけど  
潜ってみたいと思うけど  
透明なのか濁っているのか  
深いのか浅いのか  
わからないからためらってしまう

## 谷川俊太郎

思い切って石を投げよう あなたの池に  
波紋が足を濡らしたら  
水しぶきが顔にかかったら  
わたしはもっとあなたが好きになる





## 訪問団スケジュール概要

### <滞在ホテル>

北京藍亭滙酒店

所在地：海淀区成府路35-5号（城鉄13号線五道口站西角）

電話：010-6261-8596

### <公式行事>

20日 夕食（宮崎先生も交えて結団式）

21日 午前 ボランティアのIメイト学生の案内で大学付近の散策

午後 日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト

訪問団を代表して含本会員による落語の披露

表彰式を兼ねて諸先生Iメイト学生との交流会

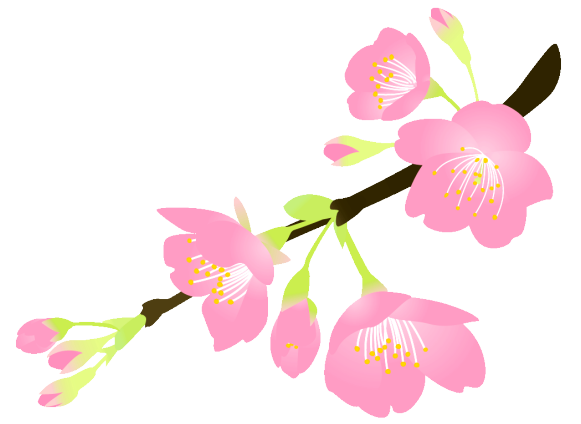
### <自由参加の行事>

20日 午後 第2外国語で日本語を選択している学生の授業参観、学生との交流

22日 終日 ボランティアのIメイト学生の案内で頤和園観光

### ホテル→清華大学キャンパス内活動場所地図





日本の口語自由詩の暗誦と感想の発表コンテスト  
発行日 2016年5月21日  
発行者 認定NPO法人 アジアの新しい風  
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 2-18-22-414  
ホームページ <http://www.npo-asia.org>  
メール [new-wind2006@npo-asia.org](mailto:new-wind2006@npo-asia.org)

